

諸教会・伝道所 各位

日本バプテスト連盟
常務理事 中田義直

連盟諸文書における年号記載方式に関する理事会からのお知らせ

主のみ名を賛美いたします。

標題について、理事会からお知らせいたします。『バプテスト』誌2021年12月号の教会インタビュー記事において「元号」表記をし、さらに同誌2022年2月号に掲載した「お詫びと訂正」において、改善策として西暦に元号年を括弧付きで併記することとし、結果的に元号使用を容認する内容となっております。この訂正記事について、恵泉バプテスト教会社会部より、理事会に対してご質問とご要望をいただき、理事会から回答をいたしました。今回理事会において（2022年度5月臨時理事会）、連盟諸文書における年号記載方式について「主の年を用いて『元号不使用』」としていくことを改めて確認したことをお伝えすると共に、以下、恵泉教会からの質問と理事会回答をお伝えいたします。なお、「元号法成立に対する反対の声明」（1979年6月6日）は連盟ホームページから閲覧いただけます。



※右QRコードからも直接、連盟HPにある声明文にアクセスできます。

主にありて

ご質問1 元号年併記の必要性は何なのでしょう。

理事会回答 「元号による年表記はしない」と同時に「元号年を西暦に併記する必要もない」ことを改めて確認します。

今回『バプテスト』誌2021年12月号の教会インタビューにおいて、元号表記をし、さらに「お詫びと訂正」（22年2月号）を掲載した際に、西暦に元号年を併記することを可としてしまいました。これを受け、2021年度3月臨時理事会において「元号法成立に対する反対の声明」（1979年6月6日）の内容に基づいて、「元号による年表記はしない」と同時に「元号年を西暦に併記する必要もない」ことを理事会として確認し、再びこのようなことが起こらないように周知していくこととしました。

なお、引用文や投稿文に元号年（併記含む）が含まれる場合は、元号年に関する連盟の基本姿勢を説明するなど、引用元の筆者や投稿者に対して丁寧に対応していきたく考えます。また、「教会員手帳」（31頁）に一部元号表記があることを確認し、その対応を協議しています。

ご質問2 『主の年を用い「元号不使用」』連盟理事会声明をどのように解釈されるのでしょうか。

理事会回答 上記質問1に回答しましたように、「元号不使用」を理事会として確認しています。信教の自由、人権の尊重、平和遵守の観点から、さらに相次ぐ天皇代替わりにおける元号使用の定着化が進められていく中において、改めて「元号法成立に対する反対の声明」の重要性は益々高まっていると理解しております。

ご質問3 連盟諸文書における年号記載方式に関して、理事会として改めて確認し、『主の年を用い「元号不使用」』の確認、公表の予定はあるのでしょうか。

理事会回答 靖国神社問題特別委員会より指摘を受け、3月9日の臨時理事会において、年号記載方式について、改めて確認し、3月臨時理事会記録に記載して4月の全国発送にて諸教会・伝道所に送付、公表いたしました（下記理事会記録参照）、併せて『主の年を用い「元号年不使用」』という理事会の基本姿勢について書面等を用いて紹介、周知していきたいと考えます。

参照：2021年度3月9日臨時理事会記録より

報告：「元号」に関する報告（『バプテスト』誌の教会インタビュー記事の記述ミスの訂正とお詫びについて、靖国神社問題特別委員会より指摘を受け、理事会として改めて「元号法成立に対する反対の声明」〔1979年6月〕、及び「新天皇即位と元号改元に際しての私たちの信仰的表明」〔2019年4月〕を確認し、連盟文書においては元号不使用としていくことを確認した。